

令和7年度 薬学と社会教科担当教員会議（オンライン開催） 議事録

【日 時】 令和7年10月25日（土）13:00～17:00

【開催校】 東京薬科大学八王子キャンパス（〒192-0392東京都八王子市堀之内1432-1）

【委員長】 山浦 克典（慶應義塾大学薬学部 教授）

【添付資料】

- 資料1 令和7年度薬学と社会教科担当教員会議次第
- 資料2 令和7年度薬学と社会教科担当教員会議出席者名簿(68大学83名)
- 資料3 大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教授
山田勉 氏 講演資料
- 資料4 鹿児島県薬剤師会 常務理事 沼田真由美 氏 講演資料
- 資料5 東京薬科大学薬学部 薬事関係法規研究室 教授 益山光一 氏 講演資料
- 資料6 帝京平成大学 薬学部長 亀井美和子 氏 講演資料
- 資料7 日本製薬工業協会 産業政策委員会総合部会アドボカシーG
三ツ井功 氏 講演資料

【会議内容】

1. 開催校として、東京薬科大学薬学部 袴田 秀樹学部長より挨拶があった。
2. 基調講演1：大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教授 山田勉氏に「令和4年度改訂薬学教育モデルコアカリキュラムの概要とその視点—深い学びとは何か?—」についてご講演いただいた。講演後、活発な意見交換が行われた。
3. 基調講演2：鹿児島県薬剤師会 常務理事 沼田真由美氏に「地域の薬剤師の現場から」、東京薬科大学薬学部 薬事関係法規研究室 教授 益山光一氏に「社会・地域における薬剤師の活動について～東京薬科大学での学生が把握機会する機会の紹介～」、帝京平成大学 薬学部長 亀井美和子氏に「大項目「B. 社会と薬学」で学修する「アウトカムの可視化」について」についてご講演いただいた。講演後、活発な意見交換が行われた。
4. その他：日本製薬工業協会 産業政策委員会総合部会アドボカシーG 三ツ井功氏より、「医療用医薬品の課題 —安定供給、イノベーションの重要性と社会保障制度の持続可能性—」について情報提供がなされた。
5. 委員長である慶應義塾大学薬学部 教授 山浦克典氏より閉会の挨拶があり、次回（令和8年度）の開催校は、現時点では調整中とのことであった。

以上